

稲作農家 各位

山武稲作情報 第4報 (2014年7月2日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

山武地域の生育状況

水稻の生育は平年より早く、コシヒカリ等の晩生品種でも穂肥適期を迎えています。両総用水の揚水は、7月1日から再開されました。幼穂形成期～出穂2週間後までは水が必要な時期になりますので、入水が可能となったほ場から湛水管理をしましょう。

参考 山武地域の生育状況

| 品種 | 場所 | 年 | 移植日 | 幼穂形成期 | 穂肥適期 | 出穂期 |
|-----------|-----------|-----|------|-------|------|--------|
| ふさ おとめ | 大網 白里市 | 26 | 4/26 | 6/14 | 6/21 | (7/10) |
| | | 25 | 4/24 | 6/14 | 6/21 | 7/15 |
| | | 平年値 | 4/27 | 6/18 | 6/25 | 7/13 |
| ふさ おとめ | 山武市 | 26 | 5/1 | 6/18 | 6/25 | (7/14) |
| | | 25 | 5/1 | 6/21 | 6/28 | 7/16 |
| | | 平年値 | 4/30 | 6/22 | 6/29 | 7/16 |
| ふさ こがね | 山武市 | 26 | 5/1 | 6/20 | 6/27 | (7/16) |
| | | 25 | 5/1 | 6/24 | 7/1 | 7/19 |
| | | 平年値 | 4/30 | 6/25 | 7/2 | 7/18 |
| コシ ヒカリ | 東金市 | 26 | 4/19 | 6/22 | 6/29 | (7/18) |
| | | 25 | 4/23 | 6/25 | 7/2 | 7/23 |
| | | 平年値 | 4/24 | 6/28 | 7/5 | 7/22 |
| コシ ヒカリ | 山武市 | 26 | 5/1 | 6/24 | 7/1 | (7/20) |
| | | 25 | 5/1 | 6/30 | 7/7 | 7/25 |
| | | 平年値 | 4/30 | 6/30 | 7/7 | 7/24 |
| ふさの もち | 山武市 | 26 | 5/9 | 6/30 | 7/7 | (7/26) |
| | | 25 | 5/9 | 7/3 | 7/10 | 7/29 |
| | | 平年値 | 5/9 | 7/4 | 7/11 | 7/27 |

平年値は過去5年間の平均値データ。幼穂形成期は幼穂長 1mm 以上の稲が80%以上となった日。出穂期はほ場の40~50%が出穂した日。今年度の出穂期()は推定日。

※お知らせ：今年から山武稲作情報を山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXに切り替えを進めています。電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 堀 s.hr22@pref.chiba.lg.jp、0475-54-0226 (電話)

カメムシの防除

カメムシ類による斑点米は、等級落ちの原因となります。特に、周囲に雑草が多い場合や周囲のほ場と出穂時期が異なる場合は、被害が出やすいため気をつけましょう。

カメムシ対策

- ・ 出穂2週間前までに畦畔の除草を行う。(出穂後の除草は、畦畔のカメムシを本田に追い込むのでやらないようにしましょう。)
- ・ 穂が出揃った頃と、その7~14日後に薬剤散布する。(薬剤は別添「水稻の生育状況と当面の対策」のP.4も参考にしてください。)

管理例 (県調査ほ場 4月19日植 東金市 コシヒカリの場合)



※収穫直前の防除となりますので、薬剤の収穫前使用日数に注意しましょう。

この生き物、ご存知ですか？

~スクミリンゴガイとマルタニシと巻貝~

スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)

柔らかい茎や葉を好むため、移植直後の稲や分げつを食べ、稲の生育や収量に大きな被害をもたらします。

卵を水の中に落としたり、冬に数回耕うんし、貝を破碎することで、被害を軽減させましょう。



卵は水中で、呼吸ができないため、水に落として沈ませる。確実なのはつぶすことです。



螺旋下部(開口部)の層が広いのが特徴で、全体的に丸い。

マルタニシ

日本在来種で、水田の中の藻類などを食べています。卵は産まずに、胎内で卵を孵化させ稚貝となって出てきます。稲に被害を与えることはありません。



螺旋上部の層が広く、全体的に細長い。



スクミリンゴガイやマルタニシには「蓋」がありますが、巻貝(モノアラガイやサカマキガイ)には「蓋」はありません。

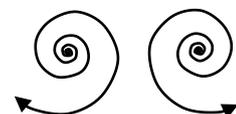


稲の株元に小さな貝がたくさんついていることがあります。この多くが、「モノアラガイ」や「サカマキガイ」という巻貝です。これらは、藻類や植物の遺骸、動物の死体等を食べ、稲に被害を与えることはありません。また、稲の葉に透明のゼラチン質の卵塊を産みつけます。



モノアラガイやサカマキガイは小さく見分けがつきにくいですが、螺旋の向きが異なります。左の写真はモノアラガイ。

上から見た螺旋の向き



モノアラガイ サカマキガイ